

国際ソロプチミスト三浦活動報告

夢を生きる

「女性のための教育・訓練賞」
クラブ賞贈呈

2017年2月3日



松山会長より応募者へ

「人間性豊かで、多角的な視野に立たれ、より深い知識を求めているとっても優秀な看護師さんが、地元の病院にいてくださり、私達も本当に心強いです。期待していると共に、陰ながら応援していますので頑張ってください」と感謝とエールの言葉を述べ感謝状と賞金を贈呈した。

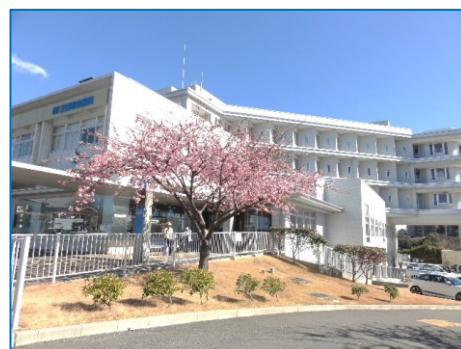
応募者より、クラブ賞に対し

「思いがけない応援を頂き感激しています。これからも一層頑張ります」と喜ばれた。

応募者は、小学校のお子様を育てながら、三浦市立病院において主任看護師として日々看護ケア、看護教育に従事。感染管理認定看護師教育課程を受講、資格を取得。その後通信教育で大学履修終了、現在は感染症のスペシャリストとして活躍している。

さらに人間性豊かに視野を広げ、他者を尊重し行動できる看護師を目指し、現在通信教育の大学院で「人間学」を専攻、勉学に励んでいられる。

子育て、就業、勉学と時間的にも経済的にも厳しい中、弱音をはかず真っすぐに進む姿勢や最後までやり通す姿は、輝いていられ、患者さん、仲間から慕われ、尊敬されている。



三浦市立病院
当日は立春「河津桜」が8分咲きでした



推薦者と共に記念撮影

クラブより一言……応募者が大学院在学中で残念ながら応募規定にもれたが「力強く真っすぐに頑張る」まさに「夢を生きる賞」に該当する素晴らしい方なので、クラブ賞を贈らせて頂いた。私達クラブは、この賞の応募者を見つけ出すために介護施設など何年も働きかけてきたが、見つけ出す事が難しい状況だった。そして、前年度・今年度と三浦市立病院の院長先生はじめ、看護部長さんのお力添えにより応募者と接する機会を頂け賞に応募出来た事を心より感謝している。